

令和元年度 第1回西日本カーリング協議会 議事録

○日時

令和元年8月5日(土) 10時~16時半

○場所

広島オフィス 6階 第16会議室

○参加者

友田剛会長 松本幸彦副会長

委員:田口朱美氏 松崎三原隆文氏 山口学氏 福岡早智氏 寺尾一朗氏 西岡氏 越智氏

北村雅美氏 北村友和氏 佐々木正一郎氏 後藤浩史氏 岡本氏 鴉田

監事: 野藤薫

事務局長 :中村英明(議事録作成者)

定刻となり友田会長が開会を宣した。始まりの挨拶の後、終了の目標時間として16時が示された。

この後、以下の協議にはいった。

●議題

1 平成30年度西日本カーリング協議会収支報告

事務局より、配布資料にそって平成30年度西日本協議会の収支報告が説明された。

ついで野藤監事より、本協議会開始前に帳簿、通帳、領収書控え、現金等の監査を行ったところ、適正に処理されているとの報告がなされた。

とくに質疑応答もなく、30年度協議会収支決算について承認を得た。

(決算書は添付資料を参照)

2 平成30年度 活動報告(事務局より)

今年度の西日本協議会関連の大会結果報告が、事務局より以下のように行なわれた。

第36回日本カーリング選手権大会

男子 京都府協会 予選0勝8敗 第9位

女子 チーム京都 予選0勝8敗 第9位

第12回日本ミックスダブルス選手権大会

チーム北村 予選

チーム愛媛 予選 2勝4敗 予選敗退

チーム熊本 予選 1勝5敗 予選敗退

第7回全日本大学選手権大会 男子 京都大学出場 予選敗退

成績報告のあと、。

3 JCA 理事会・各専門委員からの報告

友田会長より、議題や大会についての話し合いも混み合っており、報告についてはアンケートをみていただくことと、重要なことだけを報告するだけにとどめることとなった。

4 第21回 西日本カーリング選手権大会について

——決定事項——

- ① 開催日 2019年12月21日(土)・22日(日)
- ② 場 所 島根県浜田市 サンビレッジ浜田
- ③ 参加チーム(最大) 男子8チーム 女子8チーム
- ④ 試合形式 予選2ブロックリーグ戦 8エンド 上位2チームによる決勝トーナメント戦
準決・決勝は10エンド(但し、女子は決勝のみ10エンド)
※3位決定戦は8エンド
- ⑤ 参加費 1チーム 50,000円(弁当代は別途500円/人 1日)
- ⑥ 出場枠 各県協会に1枠ずつ与えられ、残りの1枠は登録人数の多い協会に割り振られる。出場枠についての発表は11月1日とする。
- ⑦ チーム名 日本選手権の規定に準ずる
- ⑧ エントリー締め切り 2019年11月30日
- ⑨ レセプション なし
- ⑩ 公式練習 なし
- ⑪ ユニフォーム・ブラシ規定の適用 男女共日本選手権出場規定に準ずる。ただし、ユニフォームは1色でも可とする。
- ⑫ タイムアウト 従来どおりなし
- ⑬ 組み合わせ 当日抽選
- ⑭ 審判

各協会から1名ずつ必ず帯同審判をつける。審判を出せない協会はエントリーできない。帯同審判については、1日あたり5000円の補助をだすこととする。なお、審判資格の有無については問わないが、最低限西日本選手権相当の試合出場経験者とする。選手(リザーブを含む)が兼ねることはできない。また今回は、予選敗退のチームはその後の試合で審判を務めていただくこととなった。この際の補助はなしとする。

⑮ アイスメイカー

12月19日(木)の夜からアイスメイクをして氷をしあげるために、各協会から1名アイスメイク要員を出すことを義務付けた。アイスメイカーには協議会より1日5000円/人の

補助金を出すこととした。出せない場合は事前に連絡をすることとする。

- ⑮ ペナルティ アイスメイカーを1日でも出せない場合については、木・金が2万円、土・日・月が3万円の罰金を科す
- ⑯ 計時 シンキングタイム制を導入する。
- ⑰ 日本選手権補助費の支給は撤廃した。

(協議内容)

競技内容はほぼ例年どおり。

まず、島根協会よりサンビレッジ浜田の2つある製氷機のうち一つが壊れてしまっているとの緊急な報告があった。修理するかどうかの返事が来週以降になることもあり、まだ今年度の営業開始日もきまっていなかったようではあるが、とりあえず、氷ができるという方向で話し合うこととなった。もし、氷が難しいということになれば、緊急ミーティングで再度協議ということが決まった。

(その後、製氷機はオーバーホールするとの連絡を受けて、予定通り開催できるとの結論となった) 日程については、航空券の関係もあり本選の一カ月前以上前に行うのがよいということとなり、年末年始は外して、12月の開催がよいということとなった。一部の協会から4人制とダブルスと別開催にしてほしいとの要望もあったが、審判の手配やアイスメイクがしにくいというのと、専用シートでするのも予約がとりにくいものあり、例年通り連続の開催となった。ただし、4人制とダブルスと両方にエントリーしている選手にとって体力面の不安が伴い、昨年もけが人まででたことから、ダブルスをブロック代表制にして4チームの参加にするという案もでたが、山口委員より、ダブルスの試合形式をダブルノックダウンにすることによって試合数がへり、体力面の心配も軽減されるだろうとの意見がでて、そのように決まった。日程については土日月の連休の案が優先されたが、24日の月曜日はリンクの事情により貸切は無理ということから、金土日の日程となった。金曜日はダブルスの試合から行うことも決まった。

また、事務局の改変から本部スタッフに各協会から1日1名を手配することとなった。過去の実績から今年度は、広島・愛媛・熊本よりスタッフを出していただくこととした。また、本部スタッフにも日当5,000円を補助することとした。計時審判については例年どおりではあるが、審判の資格については問わないが、ルールについて熟知していただくようにとの要望があった。今年度の審判長は松之内役員が当たることとなった。友田会長より、各協会でもB級審判以上をとっていただくようにとの要望もあった。

西日本協議会への選手登録は10月31日まで、時間厳守のこと

5 第12回西日本ミックスダブルスカーリング選手権大会について

——決定事項——

- ① 開催日 2019年12月23日(月)

② 場 所 サンビレッジ浜田

③ 参加チーム数 最大 8チーム

④ 試合方法

最大.8チーム ダブルノックダウン方式

ド

⑤ 参加費 1チーム 25,000円(弁当代は別途)

⑥ 出場枠 11/1に発表

エントリー締め切り 2019年11月30日

⑦ レセプション なし

(協議内容)

西日本選手権とともに協議され、日程は月曜日の日程となった。

6 日本ミックスカーリング西日本代表選考会について

——決定事項——

① 開催日 2020年4月5日(土)6日(日)

② 場所 サンビレッジ浜田

③ 参加チーム数は制限なし

④ 試合方法についても参加チームによって決定する日程についてもチーム数が少なくなった場合は1日開催となる場合もある。

7 西日本オープン大会について

① 開催日 2019年11月30日(土)・12月1日(日)

開催場所 島根県浜田市 サンビレッジ浜田

② 参加費 30,000円 (弁当代は別途)

③ 試合形式 チーム数によって決定 チーム数MAXは24チーム

他チームからのレンタルはあり、3人でのエントリーも可6人まで。

④ エントリー 11/15(金)まで

(協議内容)

8 平成27年度西日本カーリング協議会 予算案について(別紙「予算書」参照)

経費の補助等追加事項もあったので後日正式なものを発送することで確認された。

予算案は別紙参照

9 その他

- 来期の役員改選期にあたり、長谷川会長より会長職を辞したいとの発表があり、次期会長を京都の松本副会長ということでまず推薦があったが、松本副会長はJCAの総務委員長をしていることもあり、福岡の友田副会長への打診になった。結論は一旦保留とし、選手権の際にまた発表となる予定である。
- 福岡県協会より、来年度北九州にてJCA主催のミニスクールの開催を予定しているとのこと。
- 野藤監事よりサンビレッジ浜田の存続問題に関する報告があった。
 - ・3年前に指定管理者が変わり利用者が減少し、4月の答申では廃止の方向性が示された。
 - ・冷凍設備の更新についても厳しい状況で、フロンガスの入手が困難になると存続にも大きく影響する。
 - ・存続を語るには、とにかく利用者増を目指すしかない。
- 松本副会長より、2019年宇治市に新しいリンクが完成する予定だが、サブリンクがカーリング専用リンクになるかは現在のところ不明との報告があった。

最後に各協会からの現状などの報告が行われ、閉会となった。

以上